

前回答申からの変更点

CISPR22の国内答申は、平成19年(2007年)7月に行われており、第5.2版(2006年3月版)に準拠している。

前回答申からの主な変更点を次に記す(詳細は別紙参照)。

- 1 引用規格について
引用規格を最新版に修正するとともに、国内答申が行われた規格については国内規格答申に修正した。
- 2 通信ポート(通信線端子)伝導コモンモード妨害波について
CISPR22第5.2版から修正された通信ポート伝導コモンモード妨害波の非侵襲性測定法による適合判定方法をCISPR22第6版に合わせ変更した。
- 3 シールドのない平衡多対ケーブル用 ISN の選定について
CISPR22 第 6 版の解釈を明確にする目的で、通信ポート伝導妨害波試験におけるシールドのない平衡多対ケーブル用 ISN の選定方法について、付則 I (情報) として追加した。

CISPR22 国内規格第 6 版 平成 19 年度電気通信技術審議会答申と今回答申案の主な変更箇所（比較表）

| | 項番 | タイトル | 今回答申で追加、変更した内容 (平成 22 年度 CISPR22 国内規格第 6 版) | 前回答申から削除した内容 (平成 19 年度 CISPR22 国内規格第 5.2 版) | 変更理由 |
|---|----|------|--|--|--|
| 1 | | 総論 | 付則 H および I を情報として追加 | | CISPR22 第 6 版の解釈文書として発行された内容を反映した。 |
| 2 | 2 | 引用規格 | (1) JIS C 8303:2007 発行年を修正 (2) IEC61000-4-6:2003、修正 1:2004、修正 2:2006 に変更 (3) CISPR11:2003 に修正 1:2004 を追加 (5) CISPR16-1-1:2006、修正 1:2006、修正 2:2007 に変更 (6) CISPR16-1-2:2003、修正 1:2004、修正 2:2006 に変更 (8) CISPR16-2-3 を国内答申に変更 尚、前回答申より変更された引用規格は、本文中のすべての箇所で置き換えられている。 | | 国際規格との調和を図った。 尚、CISPR16 関連規格に関しては、本答申案で引用している部分のうち放射妨害波測定用テストサイトの部分を除き、国内規格化答申に置き換えた。 |

| | 項番 | タイトル | 今回答申で追加、変更した内容 (平成 22 年度 CISPR22 国内規格第 6 版) | 前回答申から削除した内容 (平成 19 年度 CISPR22 国内規格第 5.2 版) | 変更理由 |
|---|---------------------|-----------------------------------|--|--|--|
| 3 | 3.6 | 通信/ネットワークポート | “広域分散システムの相互接続”の追加と、“試験中の ITE システム”を“試験に供する ITE システム”に修正 | | 国際規格と整合させるため。 |
| 4 | 6.2 項 表 7、表 8 | 1 GHz 以上の許容値 | | 注 2) の適用時期を削除した。 | 適用開始時期が答申発行前であるため。 |
| 5 | 9.6.1 | 適合確認方法 | | 第 3 段落の議論が生じた場合、適切な I S N を使用する 9.6.2 項の適合確認方法を優先するとの文言を削除 | 国際規格の変更による。 |
| 6 | 9.6.3.5 | 5 対以上の平衡対線または不平衡線の接続を意図する通信ポートの測定 | C.1.3 項の要求条件への適合、測定時に使用したケーブルの種類、長さの試験報告書記載、測定手順および AE の条件を追加。 | | 国際規格への整合による。 |
| 7 | 10.2 | 1 GHz 以下の測定用受信機 | 旧 10.1 項番およびタイトル変更。引用規格「電気通信技術審議会答申：CISPR16-1 国内規格」を「CISPR16-1-1」に変更 | | 国際規格の修正による。修正を含む CISPR16-1-1 の国内規格が未発行のため。 |

| | 項番 | タイトル | 今回答申で追加、変更した内容 (平成 22 年度 CISPR22 国内規格第 6 版) | 前回答申から削除した内容 (平成 19 年度 CISPR22 国内規格第 5.2 版) | 変更理由 |
|----|-----------|---------------------------|--|--|----------------------------------|
| 8 | 10.3 | 1 GHz 以下のアンテナ | 旧 10.2 項番およびタイトル変更。引用規格「電気通信技術審議会答申：CISPR16-1 国内規格」を「情報通信審議会答申：CISPR16-1-4 国内規格」に変更 | | 修正を含む CISPR16-1-4 の国内規格が発行されたため。 |
| 9 | 10.4.5 | 代替テストサイト | 注) の CISPR16-1 を CISPR16-1-4 に修正 | | 国際規格番号の修正に合わせるため。 |
| 10 | 付則 C (規定) | コモンモード妨害波測定のための可能な試験配置 | 図 C.3 を修正 | | 国際規格の修正による。 |
| 11 | C.1.1 | | タイトルを修正 | | 国際規格に整合させるため。 |
| 12 | 付則 C.1.3 | 電流プローブと容量性電圧プローブの組合せによる方法 | 電流プローブで電流を測定して得られた電流値を、適用する電流許容値と比較した結果から、容量性電圧プローブで電圧を測定して得られる電圧値を補正し、補正された電圧値を、適用する電圧許容値と比較する手順を追加した。 その上で、測定で得られた電流値と補正された電圧値の両者が、適用する電流および電圧許容値以下であることとして判定基準を修正した。 | | 国際規格の修正による。 |

| | 項番 | タイトル | 今回答申で追加、変更した内容 (平成 22 年度 CISPR22 国内規格第 6 版) | 前回答申から削除した内容 (平成 19 年度 CISPR22 国内規格第 5.2 版) | 変更理由 |
|----|---------------|---|--|--|--------------------------------|
| 13 | 図 C.5 | 試験方法を選定するためのフローチャート | | フローチャートから電源ポートに関する部分を削除した。 | 電源ポートの測定フローについては、現在審議中であるため。 |
| 14 | 図 C.5 | 試験方法を選定するためのフローチャート | “その他”(C.1.3 項)に関するフローを修正した。 | | 国際規格に整合させるため。 |
| 15 | C.2 | ケーブル、フェライトおよび AE (で構成される系) の共通モードインピーダンスの測定 | 共通モードインピーダンスの測定に関する記述を修正 | | CISPR22 第 6 版において修正漏れであるため。 |
| 16 | 付則 D 図 D.4 | | 警告文を修正 | | 試験に使用する ISN 選択についての解釈を明確にするため。 |

| | 項番 | タイトル | 今回答申で追加、変更した内容 (平成 22 年度 CISPR22 国内規格第 6 版) | 前回答申から削除した内容 (平成 19 年度 CISPR22 国内規格第 5.2 版) | 変更理由 |
|----|----------------|--------------|--|--|--------------------------------|
| 17 | 付則 D 図 D.5 | | 警告文を修正 | | 試験に使用する ISN 選択についての解釈を明確にするため。 |
| 18 | 付則 D 図 D.6 | | 警告文を修正 | | 試験に使用する ISN 選択についての解釈を明確にするため。 |
| 19 | 付則 D 図 D.7 | | 警告文を修正 | | 試験に使用する ISN 選択についての解釈を明確にするため。 |
| 20 | 付則 D 図 D.9 | | 注 2 を追記 | | 前回答申時に記載漏れ |
| 21 | 付則 D 図 D.11 | | 注 2 を追記 | | 前回答申時に記載漏れ |
| 22 | F.3 | 容量性電圧プローブの原理 | 注) の記述を修正 | | CISPR22 第 6 版において修正漏れであるため。 |
| 23 | G.1 | 画像表示装置の動作 | “スクロール” を追加 | | 国際規格に整合させるため。 |

| | 項番 | タイトル | 今回答申で追加、変更した内容 (平成 22 年度 CISPR22 国内規格第 6 版) | 前回答申から削除した内容 (平成 19 年度 CISPR22 国内規格第 5.2 版) | 変更理由 |
|----|--------------|--|---|--|----------------------|
| 24 | 付則 H (情報) | 平均値検波器の選択及び複数の装置から構成されるキャビネットにおける伝導妨害波測定 | 1GHz 以上の平均値検波器の選定及びラックマウント EUT の電源ポート伝導妨害波測定法に関する解釈を追加した。 | | 国際規格の解釈文書が発行されているため。 |
| 25 | 付則 I (情報) | シールドのない平衡多対ケーブル用 ISN の選定 | シールドのない平衡多対ケーブル用 ISN の選定方法および接続されるケーブルの活線状態の定義を追加した。 | | 国際規格の解釈文書が発行されているため。 |